共生委員会ニュース

ともしび

2022年4月　第1号

共生・探求学習委員会



岩手県宮古市に手作りマスクを贈る活動

【スクールモットー「地の塩、世の光」】

共生・探究学習委員会は平和や共生に関わる活動、修学旅行などを担当する教員の委員会です。
原爆投下の地・長崎を訪れる修学旅行だけでなく、高等部の3年間の生活を通じ、同じ社会に共に暮らす様々な人々との関わりに目を向け、平和や共生の問題に向き合っていきましょう。

高等部の平和共生教育

修学旅行、各教科の授業など3年間を通して平和と共生について学んでいきます。平和共生 LogBook に一人ひとり違った足跡を残しながら、考えていきましょう。

3年間の流れ（21年度の内容）

1年生　《平和共生論文》テーマ選定

【聖書】杉原千畝の生き方を通して　　**【国語総合】**遠藤周作とアウシュビッツ／ベトナム戦争に関する小説

【英語】Playing the Enemy（人種差別政策アパルトヘイト撤廃後の南ア ラグビーワールドカップ）

【生物】放射線被曝の影響

2年生　《平和共生論文》アウトライン作成・執筆

【聖書】内村鑑三の生き方を通して　　**【現代文 B】**長崎の原爆に関する作品

【日本史 A(現代史)】太平洋戦争、アウシュビッツ収容所、原爆の歴史、ベトナム戦争

【現代社会】日本国憲法第9条、核兵器　　**【英語】**Irena Sendler の人生を通して

【物理】原子力と核兵器　　**【修学旅行】**被爆の歴史、キリシタン弾圧の歴史

3年生　《平和共生論文》完成・読み合い等

【聖書】M･L･King Jr 牧師の生き方を通して　　**【英語】**共生に関するテーマ

◆その他、グローバルウィーク、礼拝、
自主学習グループの活動など。

平和・共生に関する活動に興味がある人は、藤本、藤井、武藤、松延、吉成まで声をかけてください。

生徒自主学習団体　BLUE PECO



皆さんこんにちは。2022年度ブルーペコ幹部のM.C.です。
ブルーペコは私とM.R.、H.M.、M.M.を幹部に活動しています。

私がブルーペコに興味を持ったきっかけは、受験期に見たブルーペコのホームページです。そのホームページにはブルーペコの今までの活動、活動目標が掲載されていました。それは自分が高校生活でやりたいこと実現させたいことと重なる部分があり、高等部への入学を決める大きなきっかけとなりました。ブルーペコでは様々なGlobal Issueについて学習していますが、その中でも私が興味を持っているのは、教育問題についてです。去年の文化祭で行った「SDGs 展」を通してこの問題の深刻さについて知りました。質の高い教育を受けることによって貧困の連鎖を断ち切ることにつながります。そのための解決策を勉強会や、イベントを通して考えて行きたいです。コロナウイルスの影響でここ数年は東ティモールを訪問することができていません。しかし日本でもできることはたくさんあります。いつか訪問することのできる日が来るまで、勉強を重ねていきたいです。

高等部に入学したばかりの皆さんは不安なことばかりで、学校生活に慣れることだけでも精一杯だと思います。私もそうでした。入学前はやる気に満ち溢れていたけどいざ行動を起こそうとすると一歩勇気が出ないかもしれません。しかし私達は新一年生を大歓迎しています。ちょっとした好奇心でも構いません。ぜひ参加してみてください。お待ちしています！

BLUE PECO & フィリピン訪問プログラム　合同ミニ勉強会

高等部で毎年支援しているフィリピンと東ティモール。ここ数年は訪問できていませんが、先輩が体験した学びを継承するために、昼休みに10分の小さな勉強会を企画します。
詳細はBLUE PECOのクラスルームに掲載していますので、ぜひ参加してください。

4月28日（木）13:05～@小教室北A（北校舎2階）
「現地の人が迷惑してる“自己満支援”って何だろう」
5月 6日（金）13:05～@小教室北B（北校舎2階）
「フィリピン①　こどもの支援、って無理ゲ―じゃない?」
5月20日（金）13:05～@小教室北B（北校舎2階）
「東ティモール①　教科書ない、学校ない、先生いない。ここから!?」
6月　3日（金）13:05～@小教室北B（北校舎2階）
「フィリピン②　観光開発すれば収入が増えるって、ホント?」

興味のある人はGoogle classroomのトップ画面にある　＋　のマークから
「クラスに参加」→ classコード「　　」を入力してください。

青山学院高等部　グローバルウィーク

青山学院高等部では、毎年春と秋に「グローバルウィーク」と題して、国内外の社会問題に対して取り組む生徒たちの学びを発表しています。

今年度も感染症対策のため、昼休みや放課後の大きなイベントは開催できませんが、お昼の放送を使って学びの内容を動画でプレゼンテーションしてもらう機会を設けました。

例年では、ブルーペコ、フィリピン訪問プログラム、宮古訪問プログラム、ボランティア部などが発表していますが、今年度は個人で社会課題に関心のある生徒も募集しています。

学校以外でも、何かの社会課題について取り組んでいる生徒は、ぜひその関心と学びを全校生徒に共有してみませんか？ 国内外問わず、テーマは自由です。

興味のある生徒は、1 年生は武藤先生、2 年生は吉成先生、3 年生は藤井先生に声をかけてみてください。一学期中間試験前まで、受け付けています。

宮古の「磯とろろ」再販を終えて

高等部では、東日本大震災が起きた翌年の 2012 年から岩手県宮古を訪問するプログラムを実施してきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりここ2年は中止となりました。しかし、夏休みにオンラインで震災についての学習や岩手県の宮古の方々にお話を伺う機会を設けたり、文化祭で宮古特産の海藻や宮古北高校とのコラボグッズの販売を行ったりと、できる活動を続けてきました。

2月には有志メンバーが中心となり、文化祭ではすぐに完売した「磯とろろ」の再販を行い、文化祭での販売数 120 個を超える 170 個の注文がありました。「磯とろろ」は、とろろ昆布と出し汁がセットになっており、お湯を注ぐだけで簡単にスープがつくれるものです。まだ食べたことがない人も次の　機会にぜひ試してみて下さい。

購入してくれた生徒の声をお伝えします。「普段から常備しているほど好きです」「一袋 250 円で少しでも役に立てるならお得」「親のいなかが東北で、自分が幼少期に訪れた場所が津波に流され、訪れるたびに胸が苦しくなる」「震災のころの気持ちを思って食べました」「磯とろろを買って、改めて震災のことを思い出すきっかけになった」「過去の事という認識が強まる中、積極的に宮古の方との交流活動をする友人により、震災について考える機会をもらえました」「東北へ行ってたくさんのおいしい食べ物と出会いたい」・・・。

今年度の宮古訪問プログラムは8月3日（水）～5日（金）を予定しています。近々、募集要項を出す予定です。宮古との交流に関心がある人は、「宮古訪問プログラム」の classroom に加わって下さい。

class コード「　　」（参加の仕方は前ページの合同ミニ勉強会と同じ）